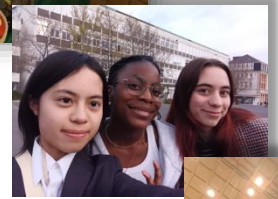


令和8年フランス派遣 2026 3/20~3/29

僕たちは2026年の春にフランスへ派遣され、ランス市とパリ市を訪れました。そこでは今まで見たことがない景色、空気、文化や歴史、人々の想いなどに触れて本当に色々なことを考えさせられました。

○フランスの市場「マルシェ」

僕たちはまず、「マルシェ」という市場を訪れました。そこでは多くの人で賑わっていて、様々な店が出店されていました。初めて見る果物、野菜、魚、お肉、香水、洋服、本、CD、指輪にネックレス、さらには絨毯まで。まるでファンタジーのような世界が目の前に広がっているのかと錯覚するほどです。



○サン・ジョセフ高校訪問

ランス市の高校生、中学生、小学生、幼稚園児との交流も行いました。僕と同年の子は、考え方がすごく大人でとてもかっこよかったです。同じ高校生とは思えませんでした。言葉は難しくても相手を思う気持ちがあれば、フランスの人たちとも友達になることが出来ました。海外派遣の後、日本に遊びに来てくれた子もいました。

○美術作品・歴史的建造物

ランス市のノートルダム大聖堂やサン・レミ聖堂、パリ市のルーヴル美術館、オルセー美術館、ヴェルサイユ宮殿を訪れました。各地の美術品や歴史的建造物の見学を通して、それらが造られた当時の社会情勢や生活習慣を読み解くことが出来ました。さらに、フランスと日本のデザインを比較した結果、両者には「外国の影響を大きく受けた」という共通点があることにも気づきました。



フランス派遣では、言葉が通じない環境だからこそ、自分の気持ちを正直に表現する大切さを実感しました。理由がどうあれ、まずは挑戦してみる。その一歩から得られる経験は、計り知れないほど大きいと確信しています。